

CDP2025における「気候変動」分野で最高評価「Aリスト」企業に初選定

東急株式会社

当社は、環境分野における国際的な非営利団体CDPが実施する2025年の調査における「気候変動」分野で、気候変動に対する先進的な取り組みや透明性の高い情報開示などが評価され、最高評価「Aリスト」企業として初めて選定されました。

CDPは、企業や自治体が環境に関する情報を公開するための国際的な仕組みを提供する非営利団体です。CDPの質問書を通じて開示する環境情報は、投資や調達の意思決定の材料として広く活用されており、2025年は、22,100社を超える企業がデータを開示しました。



当社は、環境と調和する街の実現に向けた取り組みをさらに推進するため、2022年3月に策定した「環境ビジョン2030」を改定し、「環境ビジョン2040※1」を2025年9月に策定しました。「環境ビジョン2040」では、2030年度に向けた従来の達成目標をより高い水準に更新するとともに、2035年度および2040年度に向けた達成目標を新たに設定しました。

また、従来からのTCFD※2の取り組みに加え、生物多様性分野においては本年、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の提言に沿った「TNFDレポート※3」も策定し、自然資本への取り組みも注力しています。

今後も、当社だけでなくあらゆるステークホルダーとのパートナーシップで取り組み、環境に良い行動変容を後押しする機会を提供することで、多くの方に環境貢献を身近に感じていただき、皆さんと共に環境と調和する持続可能なまちづくりを推進していきます。

※1 環境ビジョン2040: [環境方針・ビジョン | Environment | サステナブル経営への取り組み | 東急株式会社](#)

※2 TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures): 世界経済の安定性に向けて、金融安定理事会(FSB)が2015年に設立し、気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響を把握し開示することを目的とするタスクフォース。

※3 TNFDレポート: [生物多様性 | Environment | サステナブル経営への取り組み | 東急株式会社](#)

【別紙】当社が選定されている代表的なESG投資指數

■FTSE4Good Index Series

英国のFTSE Russell社が世界の主要な企業からESG評価で優れた企業を選定し、構成される指數。

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/ftse4good>

■FTSE Blossom Japan Index(GPIF採用指數)

英国のFTSE Russell社が開発した、「FTSE4Good Japan Index」の評価方法により、ESGの絶対評価が特に高い日本企業を選定し、構成される指數。

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

■MSCI Selection Indexes

2025年2月に、MSCI ESG Leaders Indexesから名称変更。米国のMSCI社が開発した、ESG(環境・社会・ガバナンス)への優れた取り組みが高い評価を受け、選定された企業で構成される指數。

<https://www.msci.com/indexes/group/selection-indexes>

■FTSE Blossom Japan Sector Relative Index(GPIF採用指數)

英国のFTSE Russell社のESG 評価をベースに、温室効果ガス(GHG)排出量や気候変動への取組みを評価・選定された日本企業で構成される指數。

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

■MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指數(GPIF採用指數)

米国のMSCI社によるESG評価により、MSCI日本株IMI指數を構成する銘柄のうち、各業種内でESG評価の高い企業が選定され構成される指數。

<https://www.msci.com/msci-japan-esg-select-leaders-index-jp>

■MSCI日本株女性活躍指數(WIN)(GPIF採用指數)

米国のMSCI社が開発した指標で、女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータや開示情報から、多面的に性別多様性に優れた企業を選定し、構成される指數。

<https://www.msci.com/msci-japan-empowering-women-index-jp>

■S&P/JPXカーボン・エフィシエント指數(GPIF採用指數)

米国のS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社と東京証券取引所が、TOPIXの構成銘柄の中から、各産業グループにおける炭素効率性の低い(売上高当たりの炭素排出量が多い)企業やリスク指標が一定以上の企業を除外して選定された企業で構成される指數。

<https://www.jpx.co.jp/markets/indices/carbon-efficient/index.html>

■Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指數(除くREIT)(GPIF採用指數)

米国Morningstar社がオランダEquileap社のデータと評価手法を活用し、ジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが文化として浸透し、ジェンダーに関係なく従業員に平等な機会を約束している企業を選定し、構成される指數。

<https://indexes.morningstar.com/gender-diversity-indexes-jp>

■SOMPOサステナビリティ・インデックス

SOMPOリスクマネジメントが実施する「環境経営調査」と「ESG経営調査」によるESGスコアを基に、SOMPOアセットマネジメントが株式価値評価を組み合わせて独自に作成する指数。

<https://www.sompo-am.co.jp/institutional/product/06/>

【参考】

■当社のサステナブル経営への取り組み

<https://tokyu.disclosure.site/ja/>

＜東急株式会社(連結)が貢献するSDGs(SDGs宣言)＞

“美しい生活環境の創造”を目指し、交通をはじめとした生活インフラやサービスと一体となったサステナブルな「まちづくり」に取り組み、事業成長と社会課題解決を両立させ、SDGsに貢献します。



以上